



こんにちは。トリプルアイズの光石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

今回はまず、2022年の10月1日より「白ナンバー」保有事業者もアルコールチェックが義務化されることに伴い、弊社で開催中の「アルコールチェック義務化 対策とポイントセミナー」についてお届けします。私も第1回のセミナーに参加いたしました！

トリプルニュースでは、「総務サービス EXPO 出展 御礼」「日本経済新聞にトリプルアイズ掲載」「AT20 サービス開始1周年」についてご紹介いたします。

さらにIT批評では「6月の予告～量子コンピューター特集～」についてご紹介します。

ぜひ最後までご覧ください！

-----<目次>-----

1. アルコールチェック義務化 対策とポイントセミナー
 2. トリプルニュース
 3. IT批評
 4. 編集後記
-

1. アルコールチェック義務化 対策とポイントセミナー

2022年5月19日（木）から、弊社にてリアルとオンラインで随時開催中の「アルコールチェック対義務化対策とポイントセミナー」第1回に参加してまいりました。

このセミナーは、先日の総務サービス EXPO にてブースにお越しいただいた皆様が、今回の法改正の概要や対象となる事業所がやるべき業務についてとても関心を寄せていらっしゃったことから緊急で弊社にて実施することになったものです。

社会保険労務士法人 Nice-One 代表の中山伸雄氏を講師に迎え、専門家の視点から解説いただきましたので、内容の一部をご紹介します！



そもそもなぜ10月1日から白ナンバー事業者もアルコールチェックが義務化されるようになるのかというと、飲酒運転による事故発生件数が増加する中、昨年の6月に千葉県で起こった飲酒運転の白ナンバートラックによる児童死傷事故を受けての改正です。

2022年4月1日から同年9月30日までは、酒気帯びの有無を目視等で確認し、その内容を記録することが義務付けられ、加えて10月1日からは酒気帯びの有無を対面で確認するほか、「**アルコール検知器**」を使用して確認し、その内容を記録することが義務付けられるようになりました。

業務で使用する白ナンバー車の保有については、「**法人ごと**」ではなく「**事業所ごと**」に車両数をカウントする必要がある点、対象となる事業所は「**安全運転管理者**」を選任する必要がある点、アルコール検知器は**常時有効に保持**すること、アルコールチェックの記録は**1年間保管**しておく必要がある点、など社内体制として準備しておくポイントがたくさんあります。

また、セミナーの中で、コンプライアンスを「守ったうえで起きた事故」と「守らなかったときに起きた事故」では、その後の会社への信用に大きな違いがあるといった事例の紹介がございました。日ごろから万全な対策を講じておくことが会社を守ることに繋がるというものを実感する事例内容でした。

セミナー後半では、弊社技術搭載のアルコール検知器の具体的な仕様や使い方についての紹介もごございます。セミナーは、随時、会場とオンラインで開催中ですので、気になられた方はぜひ下記よりお申込みください！

アルコールチェック義務化対策とポイントセミナー（無料）

日時：2022年5月19日（木）～2022年6月1日（水）の期間で随時開催中

会場：株式会社トリプルアイズ 本社会議室 またはオンライン

https://www.3-ize.jp/case/detail_20220519.html

2. トリプルニュース

「総務サービス EXPO 出展 御礼」



5月11日(水)～13日(金)に東京ビッグサイトで開催された「総務サービス EXPO」では、新サービスである「アルコール検知 AI クラウドシステム・AIZE Breath」をメインで紹介させていただきました。

AI 顔認証とアルコールチェックと検温を一連の動作で行い、記録をクラウドに自動保存するシステムです。弊社サービスに関心を寄せてブースにお越しいただきました皆様、トリプルアイズスタッフの勢いにつられていつの間にかブースに足を運ばれていた皆様、この度はお越しいただき誠にありがとうございました。

サービスや製品仕様等について不明な点やご質問がございましたらいつでもお問い合わせください。

<https://aizebizplus.jp/>

「日本経済新聞にトリプルアイズ掲載」

2022年5月21日(土)の日本経済新聞朝刊紙面、および2022年5月23日(月)の日本経済新聞電子版にトリプルアイズを掲載いただきました。

代表の山田が、システム開発事業やAI関連事業など弊社の事業概要について、また、弊社が先進技術の社会実装力を有する所以について、トリプルアイズの強みをご紹介します。ぜひご覧いただけますと幸いです！

https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC163GD0W2A510C2000000/?fbclid=IwAR2czGYrnq4J0ALO_X_U-m20KJBJo5TyQ3BmRVCe3uKPFeko6RQD7ecXLYU

「AT20 サービス開始1周年！ 受講者の声をお届けします」

AIエンジニア育成プログラム AT20



人材やスキルが不足してDXが進まないすべての企業に！

AIの技術を身につけたいすべてのエンジニアに！

経済産業省の調査した2019年の「IT人材需給に関する調査」によると、2030年には最大で約79万人もの規模でIT技術者が不足するとされています。同省が行なった2016年の調査では、IT業界の人材不足は約17万人とされていきましたから、人材が集まらない問題はますます深刻化していると言えます。

加速する先端テクノロジーの進化によってエンジニアのスキル格差、収入格差も進むと言われている現在、取り組むべきは、AI化に取り残されないエンジニアになるための自己研鑽です。

トリプルアイズでは、昨年の6月よりAIエンジニア育成のための通信教育プログラム「AT20」の提供を開始、ちょうど1年が経過いたしました。おかげ様でご好評いただき、受講者は200名を突破いたしました。

AT20の最大の特徴は、AI最先端ベンチャーの開発陣が精力を傾けてつくったがゆえの他に類を見ない充実したプログラムになっていることです。サーベイから学習、PoC、実装にまでかわり、AIの心臓部であるディープラーニングについて知り尽くしたエンジニアが、受講者をサポートいたします。

AT20 修了者の声

《入門コース》

「テキストがわかりやすく書かれていたため、短期間で多くのことを学ぶことができました。また、事例の紹介により理解を深めることができました」（20代男性）

「ご案内いただいた動画が分かりやすく、理解度が高まった気がします」（20代女性）

「入門コースは、AIに関して全く知識のない私にとって、とてもよい教材でした。今後、AIについて自分でリサーチする際の基礎的な知識を、入門コースによって得ることができたと思います」（30代男性）

《Python 基礎コース》

「課題の問題演習により自分のスキルが上がってきている、と実感をしながら学習をしていました。普段の業務ではJavaを使用しておりますので、Javaとの違いも意識しながら学習を行いました。業務繁忙等により課題の提出ペースが1週間を超えることもありましたが、サポートをいただきながらコースを修了することができました。大

変感謝しております」 (30 代男性)

「難しかったですが丸がつくと達成感があるので楽しかったです。ありがとうございました」 (30 代女性)

「後半の Term ではご担当者様に何度もご質問をさせていただき、都度丁寧にご対応いただき、課題を回答する上で非常に助かりました。これからも Python についての理解を深め、技術力の向上に励みます」 (20 代男性)

《AI 初級コース》

「初めてなので分からないことが多く大変でしたが、サポーターのアドバイスもあり、少しずつ調べながらプログラムを構築していく事が出来ました」 (20 代男性)

「多様化しすぎていて最初のアプローチが難しい AI 学習に対して、きっちり絞り込んで段取りよく学習させるカリキュラムは有用なものでした」 (30 代男性)

AT20 上場記念キャンペーン決定！

次号で詳細をお知らせいたします。

<https://at20.info/>

3. IT 批評

予告です！ 6 月は「量子コンピューター特集」

今や次世代テクノロジーの代名詞とも言えるような存在になった「量子コンピューター」。岸田政権も人工知能 (AI) と並ぶ国家技術戦略に策定すると表明しています。

今回は、1970 年代から先端コンピュータ技術に関わり、Google 本社副社長兼日本代表を務められ、量子力学の著書も上梓している村上憲郎氏に、量子コンピューターが社会やビジネスに与えるインパクトについて伺いました。

また、科学ライター・松下安武氏による「量子コンピューターを理解するための量子力学入門」も連載を開始します。

6 月の IT 批評にご期待ください！

<https://it-hiyou.com/>

編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございました。

新緑がまぶしい爽やかな5月もう少しで終わろうとしていますね。日中は気温が高まるものの朝夕は過ごしやすく、私はこの季節の早朝の空気が最も好きです。もうすぐやってくる梅雨を楽しめるグッズなどを準備しつつ、もう少しだけ今の季節を堪能したいと思う今日この頃です。皆さんも好きな季節や時間帯、ございますか？

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！
